

週報

號日七月八

第一九九號 昭和十五年八月七日發 日新報社發行 (郵遞) 同本報日發行



皇國外交の指針

外務大臣 松岡洋右

對滿支貿易計畫

商業報國運動の全國的展開

スパイは如何にして防ぐか

想起せよ 上海戰

外米の本質とその炊き方

獨伊のバルカン工作

新支那讀本 6

文化工作

五錢

週報

八月七日號

第一九九號 昭和十五年八月七日發 日第一種郵便物認可 (每週一回水曜日發行)

皇國外交の指針

外務大臣 松岡洋右

對滿支貿易計畫

商業報國運動の全國的展開
スパイは如何にして防ぐか

想起せよ 上海戰

外米の本質とその炊き方

獨伊のバルカン工作

新支那讀本 6

文化工作

五錢

露光量違いにより重複撮影

護る一言



防国な近手

週報

皇国外交の指針
 對滿支貿易計畫
 新内閣の基本國策
 想起せよ上海戦
 高麗鐵道運轉の全国的影響
 スハイは如何にして防ぐか
 鄂伊のバルカン工作
 鄂亂支那讀本
 文化工作

週日新聞

七月十七日(金)要聞
 近衛新内閣の外交、國防、經濟、教育等に關する基本國策要綱閣議決定
 日支國交調整交渉第七回會議、室文審議終了
 日佛天津協定正式調印
 大本營及政府連絡會議開催、昨日の閣議に於て決定せる基本國策要綱完全に意見一致
 クレドール英大使の自國新外交方針に關する質問に對し、即答し兼わら旨松岡外務大臣答ふ
 全印度國民會議派委員、印度の完全獨立を要求するデモ行進隊を可決
 十七日全國、齊に外國譯報

綱の一部を檢察せる旨譯報、司法兩省發表
 支那新中央政府憲政實施委員會成立典禮、國民政府大禮堂、舉行
 米艦隊一部ハワイ群島のノハイナ水道に歸還後編
 外務省領事情報部長、防衛行政の被疑者の檢察は、國內法に基つてなる結果にて、英國より抗議される場合なしと聲明
 近衛内閣基本國策發表、新外交方針に關し松岡外務大臣談話發表、陸軍定期要綱發表、海津美治郎、山田、兩中將、大將に復任、陸軍燃料改裝、輸米、奢侈品全廢強化運動全國主要都市に展開
 支那の根本方針に關し橋田文部大臣談話發表

露光量違いにより重複撮影

護る一言



防国な近手

週報 (八月七号)

皇国外交の指針 外務大臣 松岡洋右 二
 對滿支貿易計畫 企 畫 院 四
 新内閣の基本國策 海軍省海軍軍務及部 九
 想起せよ上海戦 海軍省海軍軍務及部 二
 商業報國運動の全国的展開 商 工 省 三
 スパイは如何にして防ぐか 内閣情報部 六
外米の本質とその向き方 厚生省衛生局 三
 獨伊のバルカン工作 外務省情報部 六
 新支那讀本(六) 文化工作

週問談

七月二十六日(金)前編追加
 ▼近衛新内閣の外交、國防、經濟、教學等に關する基本國策要綱閣議決定 ▼日支國交調整交渉第七回會議、案文審議終了
 ▼日佛天津協定正式調印
 七月二十七日(土)
 ▼大本營及び政府連絡會議開催、昨日の閣議に於て決定せる基本國策要綱完全に見解一致
 ▼クレギー英大使の皇國新外交方針に關する質問に對し、即答し兼ねる旨松岡外務大臣答ふ
 七月二十八日(日)
 ▼全印度國民會議派委員會、印度の完全獨立を要求するデモ行進案を可決
 七月二十九日(月)
 ▼二十七日全國一齊に外國驛報網の一部を檢査せる旨陸軍、司法兩省發表 ▼支那中央政府憲政實施委員會成立典禮、國民政府大禮堂で舉行
 七月三十日(火)
 ▼米艦隊一部ハワイ群島のラハイナ水道に歸還投錨
 七月三十一日(水)
 ▼外務省須磨情報部長、防護行為の被疑者の檢査は、國內法に基つきたる結果にて、英國より抗議される筋合なしと聲明
 八月一日(木)
 ▼近衛内閣基本國策發表 ▼新外交方針に關し松岡外務大臣談發表 ▼陸軍定期異動發表、梅津美治郎、山田乙三兩中將、大將に親任 ▼陸軍燃料廠新設 ▼簡米、奢侈品全廢強化運動全國主要都市に展開
 八月二日(金)
 ▼文政の根本方針に關し橋田文部大臣談發表

皇國外交の指針

外務大臣 松岡 洋右

私は内外時局重大の際、固らずも外務大臣の重責を擔ふこととなり、恐懼して居るのであります。この上は粉骨聖業を冀望し奉り、一億國民協力のもとに、新しい大東亞の建設に向つて、微力ながら努力し、國民諸君と共に現下の難局を乗切つて行きたいと考へて居ります。

未だ具體的な個々の外交方策を闡明する段階には至つて居りませんが、茲に、既に政府に於て決定した基本的外交政策の大要を述べ、今後政府の採るべき外交方針につき、國民の理解を願ふと共に、強力なる支持を得んことを熱望して居ります。

現下我が國の外交方針は、先づ支那事變處理を中心に日、滿、支をその一環とする大東亞共榮圏の確立を眼目としなければなりません。是はやがて力強く皇道を宣布し、公正なる世界平和を招來する所以でありまして我が國民と致しましては、この道程に横たはるところの有形無形一切の障礙は、斷乎として之を排除するの覺悟がなければなりません。

我が歴代内閣が、對外交方針として、支那事變の處理に關して、我が國に好意を寄せる國に對しては

友好的態度をとり、これに反する國に對しては、これを排撃する態度に出でたことは、固より、當然のことではありますが、私は更に一步積極的に我が方から進んで「友邦」を多くすることに努めたいと思ふのであります。即ち舊い秩序と觀念とに捉はれて、東亞の新事態に對し殊更に目を蔽ひ新世界の創造を妨害する諸國に對しては、あくまで斷乎たる態度を以て臨むことは申すまでもありませんが、東亞の新事態を認識し、自らも新らしき世界建設に邁進せんとする諸國とは、寧ろこちらから進んで積極的に提携を實現して参りたいと思ふのであります。

日滿支をその一環とする大東亞共榮圏の確立に南洋の含まれてゐることは言ふまでもありません。従來、我が國は歐洲戰爭に對しては不介入の方針をとつて参つたのでありますが、この方針については差當り變更を見ることは無いものと考へます。たゞ今後の形勢如何に依つては、これを放棄するの已むなき事態に立至ることも豫想されるのでありまして、従つて我が國の外交方策はあくまで國際的大變局を達觀し、建設的にして、彈力性ある施策を講じなければならぬのであります。

以上の如く現下我が國の外交は、支那事變の處理を中心とした大東亞の建設を根幹とし、他の同調の諸國と相携へて、各國民、各民族が各、その所を得るやう、公正なる新世界の創建に資するやう實行されなければならぬのであります。この大目的達成のため國民諸君は、更めて「外交は力である」ことをはつきり自覺され、速かに國內體制を一新し、國防國家の完成に最大の力を致されるやう望んで止まない次第であります。



對滿支貿易計畫

企 畫 院

自由通商主義とブロック經濟

近年の列國の通商政策は、一九三二年（昭和六年）を境として、従前の自由通商政策からブロック經濟政策に移つたと言つてよいであらう。即ち自由通商政策の本山であつた英國は、この年、金本位制を離脱すると共に非常時關稅法を制定し、始めて保護關稅を設定し、續いてオックスワに帝國經濟會議を開催し、英帝國を形成する自治領や植民地との間に、相互に特惠關稅を設け、第三國に對するものとその稅率に差等を設けた。英國のこの政策に倣

つて世界各國は、主として爲替管理又は輸入割當の方法によつて、次第に第三國との貿易を制限し、自國とその勢力圏内にある諸國を一體として保護助長する政策をとることとなつた。この傾向は昨年九月第二次歐洲戰爭の始まる前後から一段と強化され、戰爭資材は勿論のこと、一般國民生活用の食料品等を確保するため、列國は競つて、これ等物資が自國の勢力圏外へ輸出されることを阻止するに至つた。

かくの如き國際情勢の下に於て、日、滿、支三國の提携は日滿一體、日支友好の精神により、政治、文化、經濟各般

に互り、相互に一層緊密ならしめることを要し、特に三國を通じます。資源を開發し、産業を振興し、物資の交流を盛んならしめ、事變下國民生活の安定と占據地域住民の宜撫の工作に努め、また第三國向輸出を伸張して、外貨の獲得と必要物資の輸入を確保しなければならぬ。

いはゆる圓ブロック

昭和七年滿洲國が建國され、先づ中央銀行の設立を見、次いで滿洲國幣は我が國金圓と同價値に置かれ、又その發行準備は金銀の他に日本圓を以てすることに定まり、従つて我が國と滿洲國との間の國際貸借は日本圓で決済されることになつた。また支那については、昭和十三年三月北京に聯合準備銀行が設立されるや、日圓預金その他を見返として法幣に代つて新たに聯銀券を發行し、日本圓と同價値に置くと共に、法幣の流通を禁止し、我が國と北支との間の決済は日本圓で爲されることになつた。なほ中支や南支の我が軍事行動地域では専ら軍票を通貨の代用とさせてゐる。

要するに滿洲國と支那の通貨は圓系通貨であつて、従つてまた滿洲國と支那との間の決済も日本圓で爲されることとなり、滿洲國と支那は、いはゆる圓ブロックとして取扱はれてゐるのである。かくしてこの兩國に於ける圓系通貨の價値の變動は、滿支兩國の物價と對外爲替相場に影響するだけでなく、直接に我が國の金圓の價値、即ち本邦の物價と對外爲替相場に影響するのであつて、圓系通貨の價値を維持することは、日、滿、支三國を通ずる圓ブロック經濟の健全な發達を圖る上の基本條件である。そして滿洲國幣も、支那聯銀券も、軍票も、前述の通りいづれも我が金圓と同價値と定められてゐるのであるから、従つて物價水準もほゞ我が國のそれと同一であるべきであるが、現在、日、滿、支三國の物價水準には著しい差等があり、これが爲め物資の交流は兎角低きより高きに從ひ、一方的交流が盛んに行はれ、我が國が滿洲と支那に對して期待する重要物資の輸出が不充分で、輸入の圓滑を缺く嫌ひがあるのみならず、ひいては我が國の低物價政策の遂行にも支障を來してゐるのである。

對滿支貿易の概況

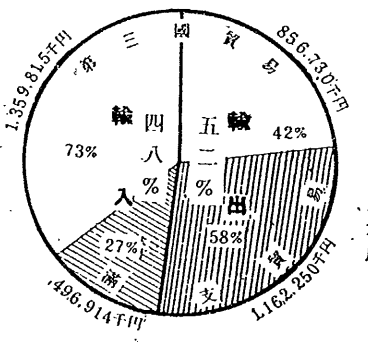
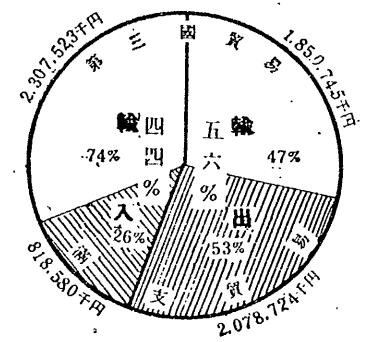
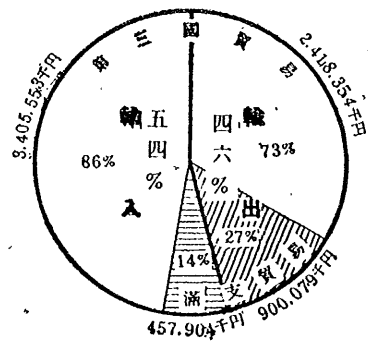
我が國の滿洲(關東州を含む)と支那に對する最近數年の輸出入を圖示すれば次の通りであつて、連年巨額の輸出超過を示して居り、昨昭和十四年など、その輸出額は我が國の對第三國輸出額を超過し總輸出額の五三%を占め、やゝもすれば外貨獲得に資すべき第三國向輸出を阻害し、また事變下の國民生活を不安に陥れる虞れさへ

昭和十二年

昭和十四年

昭和十五年

自一月至六月



も見受けられるやうになつてゐる。昨年九月價格の全面的停止を斷行するに際して、主要商品の圓ブロック向輸出が調整されるに至つたことも全くやむを得ないところである。

我が國から滿洲と支那に輸出する主要商品は、小麦、粉、茶、砂糖、水産物、罐詰食品その他の飲食料、石鹼その他の化粧品、綿織物、紙類その他の纖維製品、鐵、機械、木材その他の開發用資材等完成品であ

り、滿洲と支那から輸入する主要商品は、鐵鑛石、石炭、工業鹽、棉花、パルプ、羊毛、麻類、皮類、大豆、玉蜀黍、粟その他の農産物等粗製品である。

對滿支貿易計畫設定の趣旨

本年始めて設定された對滿支貿易計畫は、前述の通り滿洲と支那に於ける回系通貨の價值を維持しつつ、本邦側との間に物資の交流を円滑ならしめることを趣旨とする。通貨の價值を維持するためには、物資の量と通貨の量との均衡を保たねばならぬことは言ふまでもない。これが爲めには、現地に對する政府の財政收支、その他滿鐵、北支開發會社などの事業會社等による日回資金の放出と回收の狀況と、我が國から輸出し滿支側から供給を受ける輸出入貿易の數額とを視み合せ、貿易と貿易外收支を通じ我が國と滿洲、支那との間の國際收支の均衡を目的とするを要する。なほまた滿洲國と支那との間の國際貸借が前に觸れた通り円決済であるから、進んでは滿支兩國間の國際收支關係をも考慮に入れる必要がある。本年度の對

滿支貿易計畫は、輸出入貿易況(受取超過)を資金統制計畫によつて劃定された我が國の對滿支供給資金(即ち投資額)を含めた貿易外收支(支拂超過額)に照應させ、國際收支全體の均衡を圖る方針を以て設定された。かくの如くして日滿支を通ずる回ブロック經濟圏の基礎は堅實たることを得、回ブロック經濟の健全な發達を所期することとが出来るのである。

計畫の概要

本計畫は以上の趣旨により從來の部分的且つ彌縫的な措置に代へ、日、滿、支を通じて、物資、通貨及び物價の三方面から総合的に調整を行はうとするものであつて、計畫設定に當つては次の諸項に重點が置かれてゐる。
(一) 本邦側から供給すべき物資の數量は、我が國の第三國向輸出の維持伸張と國民生活の確保に支障を及ぼさない範圍で、出来る限り多量ならしめ、同時に滿洲と支那側から我が國が供給を受ける物資の數量は、現地の事情の許す限り多量ならしめること

寫眞週報 第二百二十八號

(八月七日發行)

- ☆砲を背負つて乗鞍を越す
——松本聯隊のアルプス強行軍
- ☆難中の難事敵前上陸
各種の戦ひの中でも至難事である敵前上陸とは……
海軍省提供の寫眞と記事を見よ
- ☆すは焼夷弾——圓タク變じて應急ボンブ
内務省防空研究所考案の新防空消防ボンブ
- ☆食ふか食はれるか——水中の生存競争
カマスとトチウオの猛烈な闘争
- ☆湖上の制霸
紀元二千六百年奉祝琵琶湖團體長距離競泳全國大會
- ☆裸體を實驗臺に
房州勝山の臨海實驗所で折から水泳訓練中の男女學生
をとらへて生きた氣象醫學を研究する千葉醫大生
- ☆断ち切られた南方の援將ルート
△英支國境に日章旗
△今は淋し雲雨ビルマルト
- ☆讀物ページ
△我々の進路は決つた——新内閣の基本國策 △新廣東話風土記——南支那の會話 △傳び行く新中國の子供 △次代國民の育て方 165その他

(二) 輸出入物資の選擇に當つては、出来る限り、戰時下に於ける消費統制方針と前述の滿洲、支那に於ける圓系通貨の價值維持に有效な品目を重視すること

(三) 物資動員計畫に於て決定されてゐる本年度滿支側に供給すべき物資と滿支側から供給を受くべきものに就いてはそれ／＼その既定計畫によること

(四) かくして滿洲、支那に對する本邦側の貿易出超額は、對滿支投資額を含む貿易外收支上の本邦側の支拂超過額に照應せしめ、國際收支の均衡を圖ること

かやうに本計畫は、日滿支を通ずる物資、資金兩部門の総合的計畫であつて、その達成の成否は、直ちに物動その他諸計畫乃至物價その他の諸政策の遂行に至るまでの影響を及ぼすのであり、内地と現地相協調し、また官民一致必要なあらゆる措置を講じ、本計畫の達成に努めなければならぬ。そしてこの計畫實現の爲め、本邦側も亦現地側も、それ／＼その輸出品の集荷を確保し、輸出入貿易の圓滑を圖る爲め、集荷機構、輸出入機構を一層整備することが緊要である。

新内閣の基本國策

近衛内閣は八月一日、大變動機にある世界情勢に對處する皇國の基本國策要綱を左の如く中外に闡明した。これと同時に近衛内閣總理大臣談及び外交方針についての松岡外務大臣談が發表され、翌二日には教育方針についての播田文部大臣談が發表された。以下にその全文を掲げる。

一、根本方針

世界は今や歴史的に一大轉機に際會し數個の國家群の生成發展を基調とする新たな政治經濟文化の創成を見んとし、皇國亦有史以來の大試練に直而す。此の秋に當り眞に皇國の大精神に基づく皇國の國是を完遂せんとせば右世界史的發展の必然的動向を把握して庶政百般に互り速かに根本的刷新を加へ萬難を排して國防國家體制の完成に邁進することを以て刻下喫緊の要務とす。依つて基本國策の大綱を策定すること左の如し。

一、根本方針

皇國の國是は八紘を一字とする紫國の大精神に基づき世界平和の確立を招來することを以て根本とし、先づ皇國を核心とし日滿支の強固なる結合を根幹とする大東亞の新秩序を建設するに在り。

之が爲め皇國自ら速かに新事態に即應する不拔の國家態勢を確立し國家の總力を擧げて右國是の具現に邁進す。

二、國防及び外交

内外の新情勢に鑑み國家總力發揮の國防國家體制を

基本國策要綱

近衛内閣總理大臣談 昭一五・八・一

政府は國策の基本要綱を決定し茲に之を發表する。本要綱は概ね政府自らの今後着々實行すべき具體的施策の基本となるものであり、その方向を示さんとするもので

ある。政戦兩略の一致は政府の最も期する所であつて、既に過日大本營との連絡會議も開かれ完全に意見の一致を見たのであるが、今後益々これが達成に向つて進むべく、本要綱に基づき外に對しては新情勢に應ずべき國防の充實と外交の自主積極的刷新、内に於ては強力なる新政治體制の確立に邁進せんとするものである。

基礎とし國是遂行に遺憾なき軍備を充實す。

現下の外交は大東亞の新秩序建設を根幹とし先づ其の重心を支那事變の完遂に置き、國際的大變局を遠觀し建設的にして且つ弾力性に富む施策を講じ、以て國運の進展を期す。

三、國內態勢の刷新

内政の急務は國體の本義に基づき庶政を一新し國防國家體制の基礎を確立するに在り。之が爲め左記諸件の実現を期す。

1 國體の本義に透徹する教學の刷新と相俟ち自我功利

の思想を排し國家奉仕を第一義とする國民道德を確立す。
2 強力なる新政治體制を確立し國政の綜合統一を圖る。
イ、官民協力一致各、其の職域に應じ國家に奉公することを基調とする新國民組織の確立
ロ、新政治體制に即應し得べき議會翼賛體制の確立
ハ、行政の運用に根本的刷新を加へ其の統一と敏活とを目標とする官界新態勢の確立
3 皇國を中心とする日滿支三國經濟の自主的建設を基調とし國防經濟の根基を確立す。

イ、日滿支を一環とし大東亞を包容する協同經濟圈の確立

眞に忍苦十年時艱克服に適應する實質剛健なる國民生活の水準を確保す。

ロ、官民協力による計畫經濟の遂行特に主要物資の生産、配給、消費を貫く一元的統制機構の整備

外務大臣談 昭一五・八・一

ハ、綜合經濟力の發展を目標とする財政計畫並びに金融統制の確立強化

ニ、世界新情勢に對應する貿易政策の刷新

ホ、國民生活必需物資特に主要食糧の自給方策の確立

ヘ、重要産業特に重、化學工業及び機械工業の劃期的發展

ト、科學の劃期的振興並びに生産の合理化

チ、内外の新情勢に對應する交通運輸施設の整備擴充

リ、綜合國力の發展を目標とする國土開發計畫の確立

4 國是遂行の原動力たる國民の資質、體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立す。

8 國策の遂行に伴ふ國民犧牲の不均衡の是正を斷行し厚生の諸施策の徹底を期すると共に國民生活を刷新し

私は年來皇道を世界に宣布することが皇國の使命であると主張して來た者であります。國際關係より皇道を見ますれば、それは要するに各國民、各民族をして各、その處を得せしむることに歸着すると信ずるのであります。即ちわが國現前の外交方針としてはこの皇道の、大精神に則り先づ日滿支をその一環とする大東亞、共榮圈の確立を圖るにあらねばなりません。これが總て力強く皇道を宣布し公正なる世界平和の樹立に貢獻する道程に上る所以であります。而して、わが國民はこの道程に横たはるところの有形無形一切の障礙を排除するはもとより、更に進んで我に同調する友邦と提携、不退轉の勇猛心を以て、天より課せられたる我が民族の理想と使命の達成を期すべきものと堅く信じて疑はぬ者であります。

現下内外の狀勢に即應して國內體制を刷新し東亞新秩序を建設するに當つて我が邦文政の根本とすべきものは左の三點に歸着する。

一、國體の本義を明らかにし國體の精華發揚を期すること

二、自我功利の思想を絶對に排し、國家奉仕を第一義とする國民道德の確立を期すること

三、科學の眞諦を普及發展せしめ國家奉仕實現の實踐的基礎を確立すること

國家興隆の基は「教」と「學」との充實と振興とにあることは論を俟たない。而して教學は本來一體であるべきである。即ち學は教を俟つて其の本義が明らかになり、教は學を其の内容とするとき其の眞諦が確實となるのであつて教學と科學とは根柢に於て歸一すべきものである。從來かかる意味に於ける教と學との一體の旨を明らかにしない

で、動もすれば教學と科學とを互に分離對立せしめて居る傾向があつた爲めに教學と科學とが眞に日本的に振興せられなかつた嫌ひがある。今此の時局に當つて文政の根本たる三つの點を實現し國家百年の大計を確立するが爲めには教學一體の本義に徹して教學の刷新興隆と科學の振興發展とを圖らなければならぬ。

教學の刷新

現下時局に於ける教學の刷新は前述の三點に基づき制度施設を刷新し、國民生活から遊離して居る學術思想を排し、個人主義自由主義の殘滓を洗ひ去つて國民一體國家奉仕の實を具現するの體制を確立し、博大なる知識、旺盛なる氣力、強靱なる體力を有する國民を錬成することを主眼としなければならぬ。是れ當に國家當面の時局を突破するに必要なるのみならず、無窮の皇運を扶翼し皇基を振起し奉る所以である。

その方策としては凡そ

一、日本教學研究の振興

て其の效始めて完きを得るものであつて、現下の時局に際しては殊に有爲なる技術者の養成を急務とする。以上の觀點に基づき差し當り自然科學振興の爲め實施せんとする諸方策左の如くである。

- 一、科學研究の擴充整備
- 二、科學研究の連絡の統合
- 三、科學研究者技術者の養成充足
- 四、科學教育の刷新振作
- 五、科學功勞者の表彰

而して、いはゆる科學振興に際して最も重要なことは其の基礎的たると應用的たるを問はず、必ず國家奉仕、日本文化興隆を其の第一義諦とすること、即ち日本科學の樹立にある。これに向つてはいはゆる科學振興に従事する科學者、將來科學者たるべき青少年學徒に向つて國體本義發揚と科學の振興とは一にして二ならざる旨を實踐的に徹底把握せしむることを要する。即ち日本科學の振興は國體の本義の發揚を離れて期すべからざる所以を識得せしめなければならぬ。

- 一、學制改革の實施
- 二、師道の昂揚
- 三、青少年身心鍛錬の強化
- 四、社會教育の充實
- 五、思想國防の強化

科學の振興

國本の培養、國運の發展は教學の刷新と相俟つて科學の振興に因るのほか道はない。現下の時局に當り科學振興に暫く二途ある。一は基礎的科學の振興、一は國防科學を始め現下時局當面の需要に應ずる爲めの科學總動員である。この兩者は互に相俟つて始めて其の實現を期すべきで、實に總動員さるべき科學振興は基礎的科學の振興を離れて別個に遂行さるべきものではない。

抑、科學を振興せんには研究施設の増設並びに擴充整備と研究者及び技術者の増加並びに素質向上とが必須の要件である。これは科學研究と科學教育との一體的運営に依つ

想起せよ上海戦

銘記せよ八月十三日



海軍省海軍軍事普及部

八月十三日はわれわれ國民にとつて忘れてはならない日である。三年前のこの日は周知の通り、彼の戦史に比類なき激烈なる上海戦が支那軍の挑戦によつて開始された日である。われは茲に三度この日を迎へて、まづ上海戦初頭に於ける我が陸戦隊の孤軍奮闘、惡戦苦闘と七十餘日に互る同方面海陸協同作戦の跡を偲びつゝ、忠勇義烈なる戦役將士の英靈と、戦ひに傷つき或ひは病に倒れた數多の勇士に對して、心からなる敬意と感謝の眞心を捧げると同時に、東亞新秩序建設の礎石となれるこれ等の人の尊き犠牲を、斷じて徒爾ならしめないやうに、更に一段の反省と奮起を誓ふものである。おもふに今次事變の序幕たる上海戦に於ける皇軍の大捷こそは、直ちに敵首都南京の死命を制し、従つて

その後の作戦をいかに有利に導いたかは、實に測り知るべからざるものがあつて、假りにこの一戦に於て、蒋介石の意圖の如く、また第三國軍事専門家の豫想通り、皇軍利あらずとしたならば、恐らく今事變の進展は今日とは餘程異つたコースを辿ることになつたであらう。この意味に於ても、實に皇軍の神速なる大上海攻略と、その偉大なる戦果は永遠に史上に特筆大書さるべきである。

そこには、海を越えて皇軍の電撃的敵前上陸作戦があり、時代を劃する海の荒鷲の奮戦があり、海、陸、空、渾然一體の協同作戦の精華が遺憾なく發揮されたのであつて、われは地理と事情を無視して、徒らに歐洲戦争の宣傳に眩惑されることなく、寧ろ近代戦に於ける新機軸は、今次事變に際し皇軍の創意によつて編み出されたものが多々ある事實を知らなければならぬ。だが、吾人は今こゝで更めて上海戦の經過を詳述しようとするものではない。

われは今國際都市を戦場とした上海戦の特異性を想起して、この一局地戦が、宛ら支那事變の全貌を端的

に示現した、一幅の縮圖であつた事實を回顧し、事變處理の前途に幾多貴重なる教訓を見出すのである。

勃發前後の我が海軍の行動

そも、今次支那事變は、蔣政権が多年に互り國際正義を無視して排外政策の目標を帝國に置き、排日及び抗日を以て國內の統一、政權強化の具に供し、軍隊、學校に於ては排日を以て精神教育の根幹となし、純眞なる幼年時代より華隣を仇敵視する思想を注入するやうな、世界に類を見ない暴舉を敢へてして來たことに胚胎し、加ふるに數年來、日本を目標として國民に盛んに軍事思想を鼓吹せる一方、白人軍事顧問の指導下に急速に軍備を強化した結果、支那軍憲は自負の念に驅られ、國民もまた自力を過信するに至り、遂に帝國の國力を輕侮して挑戰的風潮を普く國內に醸成せしむるに至つた必然の歸結であつた。殊に昭和十一年、かの西安事變以後國共合作成るに及んで、蔣介石は、對日抗戦の根本方針を確立し、抗日毎日氣勢は彌が上にも昂揚されたの

であつた。

わが支那警備艦隊は、以上の如き排日抗日の嵐の只中にあつて、隠忍に隠忍を重ねつゝ、毅然としてその任務を遂行し、在支同胞の生命財産の保護と帝國權益の擁護に努めてきたのであるが、抗日侮日はいよつこのり、遂



國戰の突撃

に恐怖行為にまで發展し、わが海軍の警備區域に關係あるものだけでも、次のやうに多数の事件を發生するに至つたのである。即ち

上海中山事件 (昭和十年十一月九日)
汕頭事件 (昭和十一年一月二十二日)

- 上海遼生事件 (昭和十二年七月十日)
- 長沙事件 (八月二十日)
- 成都事件 (八月二十四日)
- 北海事件 (九月三日)
- 漢口事件 (九月十九日)
- 上海田港事件 (九月二十三日)
- 湘潭事件 (九月二十七日)
- 上海高瀬事件 (十一月十一日)
- 山東省海岸漁船扣留事件 (昭和十二年三月十一日)
- 汕頭青山巡查事件 (五月二十二日)
- 勃海灣漁船不法射擊事件 (五月二十三日)

以上の外、日常の區々たる小事件に至つては實に枚擧に遑ないほどで、しかも齒を喰ひしはつて克く隠忍自重しつゝあつた我が警備艦隊將兵の悲痛なる心情は、まことに察するに餘りあるものがあつたのである。

ば、爾後我が方がいかに事件不擴大、局地解決に努めたとはいへ、上海戦の勃發は所詮不可避の情勢にあつたのである。果せるかな八月に入るや、俄然上海方面の情勢は悪化の一路を辿り、支那軍は昭和七年の停戦協定を無視して、晝夜兼行上海周邊の陣地強化を急ぎ、いよつこのり挑戰的態度を示すに至つたのである。

こゝに於て我が方は、八月一日より長江筋居留民の引揚を開始し、重慶より上海に至る約千四百哩の沿岸各地に分在せる我が居留民二千八百有餘名は、我が警備艦艇の護衛の下に、多年營々建設せる生活の本據を棄てて、八月九日午後までに全部上海に無事引揚を了したのである。而してこの八月九日こそは、實に彼の慘虐なる大山事件を惹起したその日であつたのである。かくて事態は急轉直下、最悪の場面に直面するに至つた。

しかしながら我が方は、尙ほも不擴大方針を堅持し、わが陸戦隊の支那側に要求したところは、保安隊の即時撤退と所在軍事施設の即時撤去の二つに過ぎなかつたのである。しかるに支那側は何等誠意を示さざるのみか、ますます

す兵力を増加していよつこのり露骨な挑戰的態度を示し、十二日未明第八十八師の軍隊は列車及びトラックを運んで續々北停車場に到着し、その一部は鐵路を越えてハスケル路附近まで進出した。一方市政府、江灣鎮、閘北方面には堅固なトーチカ陣地を構築し、租界の周圍には無数の地雷を敷設した。かくて寡勢三千にも足らぬ我が陸戦隊は、この頃既に我に十數倍する敵の重圍に陥つてゐたのである。

而して十二日午後二時大山大尉と齋藤兵曹の葬儀が陸戦隊本部に於て厳かに行はれたのであるが、この日支那側は非道にも弔銃合圖に、我に向かつて砲銃を打込んで、いよつこのり上海戦の火蓋を切つて落し、寡勢なる我が陸戦隊を殲滅すると同時に、三萬の我が居留民を一舉に擧殺せんとする計畫すらあつたのである。

一方、内地に在つて滿を持して待機中の我が艦隊の精銳は、大山事件のあつた日の翌十日には、既に東支那海の怒濤を蹴つて一路風雲急を告げた上海に向け發進中であつた。そして八月十三日午後四時五十五分、わが陸戦隊

本部に對する支那軍の砲撃によつて、遂に上海戦の火蓋が切つて落され、大川内上海特別陸戦隊司令官から、いかにも海軍流の「全軍警戒、戦闘を開始せよ」との歴史的命令が下された時には、既に我が増援陸戦隊の一部は上海に上陸第一歩を印して、寡勢なる我が固有の上海特別陸戦隊に協力することが出来たのである。爾後我が増援陸戦隊は續々と上海戦線に到着し、十數倍に餘る敵軍を迎へて勇戦奮闘、遂に克く累卵の危機を切り抜け、やがて八月二十三日には我が陸軍部隊の吳淞敵前上陸を見るに至つたのである。而してこの時敵の兵力は實に二十萬を算してゐたのである。

右の状況は正しく、戦史に比類なき皇軍の電撃的渡洋作戦であつて、これ實に我が海軍の確保せる完全なる制海権と制空権の賜であつたといはなければならない。

上海戦の特異性と英國の作戦妨害

國際都市たる上海を兵戦の巷と化することは、第三國を事變に介入せしめ、以て列強の對日干渉を誘致し得

る可能性がある點に於て、また上海が首都南京から近距離にあつて兵力の行使が容易なる點に於て、更に大上海の周邊に五ヶ年の日子と巨額の國帑を費して構築した十重二十重の防禦陣地が、難攻不落であると自負せる點に於て、支那側にとつては願つたり叫つたりの好條件が揃つてゐると考へられてゐたのである。この點よりしても、おそかれ早かれ、上海戦の開始は支那側豫定の筋書であつて、所詮不可避であつたのである。

そしていよいよ開戦となるや、果せるかな上海戦の特異性は終始皇軍を憫まし、殊に緒戦期に於ける寡勢なる我が陸戦隊は、孤軍奮闘、一時は非常な危機に瀕したのであつた。

(一) 便衣隊

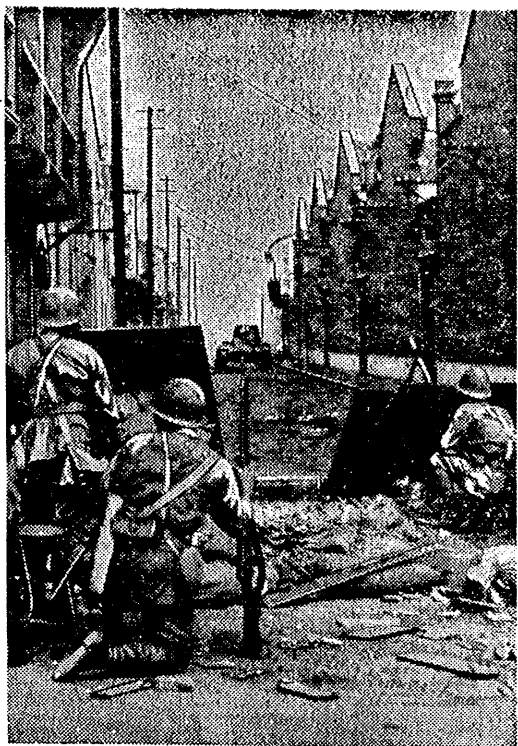
八月十三日支那側から我が陸戦隊歩哨に對し、挑戰の第一發を發砲したものはゆる便衣隊であつた。その便衣隊とは、今日のいはゆる第五部隊に相當するものともいへるのであつて、その使命とするところは敵の後方

擾亂であり、ピストル、擧彈等の武器を携へて平服のまま巧みに敵地に潜入し、そこで暗殺その他いろ／＼の後方擾亂に活躍するのである。これは國民革命以來のこと

施されて來たことだといへるのである。しかも國際都市上海が、便衣隊にとつて絶好の活躍舞臺であつたことは云ふまでもない。

(二) 市街戦

國際都市上海に於ける市街戦は、過ぐる上海事變に於て初めて私の體驗したところであるが、今次事變に参加した我が上海特別陸戦隊は、爾來現地に在つて日夜猛訓練を重ねつゝあつたので、上海の地理には明るく、事情にも精通し、もはや市街戦にかけては純然たる素人ではなかつた。しかしながら市街戦そのものの特異性は依然として我が陸戦隊將兵を憫ます



樹樹浦の市街戦

で、過ぐる上海事變に於ても我が方が如何にこれに憫まされたかは既に周知のことであると思ふ。即ち今日喧傳されつゝある第五部隊は、支那に於ては夙にしば／＼實

ことは絶大なるものがあつたのである。こゝに詳説の遺を持たないが、敵も味方も、一舉に大軍を以て雌雄を決することが不可能な状況にあつたことは、一面寡勢なる

我が方に幸ひしたといひ得るが、敵は後方に十重二十重の豫備隊を控へてゐるので、構比せる家屋の一軒々々を争奪する市街戦は、全市街を灰燼に歸せざる限り、果てしなく続けられるわけで、速戦即決を期する我が方にとつて不利であることはいふまでもなく、我が陸戦隊將兵の悪戦苦闘は實に言語に絶するものがあつた。

(三) 租界の存在

上海には、世界のどこにもない第三國の租界なるものがあつて、これがいかに皇軍の作戦を妨害したかは、實に測り知るべからざるものがあつた。例へば、閩北のボケット地帯(北停車場附近)に占據した頑敵に對して、我が陸戦隊の陣地から大砲を發射すると、彈丸が外國人の租界に落下する虞れがあるので、我が方は已むを得ず上空から急降下爆撃を加へ、これに呼應して陸戦隊が、肉弾を以て逐次突撃して行くと云ふ戦法をとらざるを得なかつた。これがため我が陸戦隊は終始慘烈なる戦闘を交へ、多大の犠牲を拂はされたのであつた。

しかも支那軍はこの不當なる地の利を占めて最後まで頑強に抵抗したばかりでなく、隣接せる第三國の援助をさへ受けてゐたのである。

即ち租界の存在は、事實上支那軍と援將第三國租界守備兵との協同作戦を可能ならしめたのであつた。

殊に英國の皇軍に對する作戦妨害は極めて露骨であつて、正に皇軍に對する挑戦行爲であつたといふも過言ではない。その利敵害我の敵性行爲は眞に枚擧に遑ない程であるが、その實例の一部を挙げれば、次の如きものがある。

- (一) 八月十四日出雲を目標とした敵機の爆彈が英棧橋に命中、棧橋並びに附近倉庫に損害を與へた時、英國は我が旗艦出雲に轉鑄を要求し、我が方にして若し應ぜざれば英國軍警備の共同租界のバリケードを開放すべしと脅喝し來つた。
- (二) 英國人の建築物を支那軍に利用せしめ、彈着観測、偵察、通信連絡など、あらゆる戦闘上の利益を與へた。

- (三) 作戦上の必要から共同租界附近の上空を通過中の我が飛行機に對して、英國警備區域から高角砲並びに機銃射撃を浴びせかけた。
- (四) 英國の上海ドック構内を支那の魚雷發射場に使せしめ、我が旗艦出雲撃沈の計畫實施に援助を與へた。
- (五) 四行倉庫に據る殘敵整理中、英側は支那軍に糧食、水等を配給し、鐵條網を切り開いて逃道を作り、殘敵を舊英租界に收容した。
- (六) 我が内火艇が工部局消防隊保護の爲め蘇州河を通航せんとするや、英國陸軍はジャックを狩集めて航行を阻止し、銃列を布いて我が方を威嚇したのみならず、我が内火艇に乘込み無禮なる言動をなした。
- (七) 昭和十二年十一月二十七日、我が陸戦隊が北停車場を占領した時、支那收殘兵を租界に收容し、俄かに堅固なトーチカ陣地を築いた。
- (八) 閩北戦線の我が大西部隊が、北停車場占領の前夜斥候を出した際、英國兵は殊更に電燈を點じて我が

斥候の行動を妨害した。

- (九) 我が軍が蘇州河以南の攻撃に移るや、英國軍隊守備區域の中に數個の支那軍中隊本部を設けて自由行動、英國軍と支那軍との協同作戦により、共同租界エキステンションに接近せる我が攻撃軍を悩まし、我が軍に多大の犠牲を拂はせた。

これを要するに國際都市と呼ばれる上海そのものが支那の植民地的性格を如實に現してゐるのであつて、従つてこゝで戦はれた上海戦の様相は、端的に今次事變の全貌を示現した縮圖に外ならないのである。

われわれは今大東亞新秩序建設のために、東亞の天地を舞臺とし、更に世界を舞臺とする大上海戦を戦ひつゝあるのであつて、この戦ひの性格は三年前の上海戦とそつくりである。たゞ舞臺が世界的であるだけの相違である。われわれは上海戦を回顧するにつけてもいよいよ時局の重大性を認識し、速かに高度國防國家としての新體制を完成して、現下の世界的變革期に善處しなければならぬ。

商業報國運動の全國的展開

商 工 省

一 はしがき

商業報國運動については、既に全国各地の商業者によつて商業報國會等が組織され、積極的運動を展開してあるものも少なくないのである。しかし、長期建設戦下に於ける商業の重要性に鑑み、商業を國家總力戰體制へ動員する、いはゆる商業動員の爲めには、全商業者にいま一層の商業報國の實を要請されるのである。こゝに商業報國運動を全國的な組織ある運動とし、商業者自體の運動として展開することになり、官民を擧げてその積極的進展と指導とに乗り出すこととなつた。

以下に本運動の概要を略述して、商業者は勿論、國民

全般の積極的協力をお願いすることとする。

二 商業報國運動の概要

商業報國運動は既述の通り、わが國現下の客觀的情勢に基づく國家的な要求と、商業者の自主的更新の必然的要素から發したものである。従つてその本質上、國家の適切な指導の下に、商業者自體が自主的に推進して行く運動でなければならない。

(一) 目的

本運動の目的は、その綱領に明示されてゐる通り、商業報國の實踐躬行によつて皇國の興隆に貢獻するために、

商業理念の更新を期し、その具現方法として商業者の組織を整備して商業新秩序を確立するにある。

商業報國運動の綱領は左の通りである。

一、我等ハ商業本來ノ尊キ使命ニ鑑ミ、商業報國ノ赤誠ヲ披瀝シ、實踐躬行以テ皇國ノ興隆ニ貢獻センコトヲ期ス。

一、我等ハ營利ノミヲ主眼トスル商業ノ舊習ヲ打破シ、公益的的使命ヲ中樞トセル新シキ商業倫理ノ確立ヲ期ス。

一、我等ハ商業者本來ノ職能ヲ完遂センガ爲メ、商業者ノ組織ヲ整備シ商業新秩序ノ確立ヲ期ス。

(二) 實行組織

本運動の實行組織としては、全国各地に商業報國會を組織し、商業従事者を全面的にその會員とし、店主は勿論、その家族従業員及び店員を擧げて、商業報國運動に動員せんとするのである。

商業報國會の組織は、既設の商業組合を中心とし、商業組合の設立されてゐない業種又は地區にあつては既存の商業者團體等を中心とする。或ひはまた地域的に報國會を組織する。何れにしても、運動の實踐上最も有效適切な組織體たることを目標として、その組織に當らねばならない。

また本運動の實踐上、商業青年層の動員は必須不可缺の問題であり、青年は次代の商業發展上重要な鍵をなすものであるから、原則として商業報國會には必ず青年部を設け、商業青年層の組織を結成し、商業報國運動に青年層を全面的に動員するやうにしなくてはならない。その指導と實踐については格段の留意を以つて當られんことを切望する。

これらの商業報國會を會員として、各道府縣毎に道府縣聯盟を結成する。道府縣聯盟は商業報國會と緊密な連絡を保ち、統制ある指導の下に本運動の實踐徹底に萬全を期せんとするものである。

更にこの全国の各道府縣聯盟を會員として、商業報國中央聯盟を組織する。中央聯盟は本運動の實踐徹底の最高機關として、全國的に指導、連絡、統制を圖り、政府及び國民精神總動員聯盟本部等と連絡、協力して全國的且つ商業全般に亘る運動の自主的、積極的展開を期するのである。

(III) 實踐要項

商業報國運動の實踐要項は

- 1 新商業倫理の確立
- 2 商業新秩序の確立
- 3 統制遵守の徹底化
- 4 商業機能の刷新
- 5 啓蒙教育
- 6 商業者の生活刷新
- 7 商業青年の指導

の七項目で、わが國經濟の客觀的情勢に鑑みて必要な事

項をとりあげ、實踐躬行せんとするものであり、運動の本旨に徴して、徒らに抽象的な御題目に終始することを避けねばならない。

即ち商業報國會では右の要項中、まづ最も實踐し易い問題をとり上げ、その業種と業態並びに地方事情に即應して運動の實を擧げ、道府縣聯盟と中央聯盟は、統制ある指導連絡の下に全般的、且つ全國的に本運動を展開せんとするものである。

三 むすび

以上本運動の概要について述べたが、運動の展開過程としては、先づ各地方ブロック別に關係道府縣協議會を開催し、本運動の趣旨、内容を説明し、實行組織結成に關する打合せを行つて、道府縣係官、道府縣商業組合中央會支部役員並びに商業組合その他商業者團體代表者と懇談協議をした後、國民全般に本運動展開の趣旨、内容の理解、認識を求める爲め大講演會を開催して、廣く

全般に呼び懸け、全面的協力を要請する。

右の協議會は既に、過ぐる六月十七日仙臺市に於て東北地方協議會を、また同二十日札幌市に於て北海道地方協議會を開催し、尙ほ札幌市に於ては同日夜大講演會を開催していよいよ本運動の全國的展開の口火を切つた。引續き全國各地に於て協議會並びに大講演會を開催し、逐次全國各地に商業報國會及び道府縣聯盟を結成すると共に商業報國中央聯盟の結成を急ぎ、急速に本運動の實踐徹底を期してゐるのである。

本運動の實行組織結成運動については、取り敢へず商業組合中央會に於て協議會、大講演會を主催し、中央聯盟の結成まで本運動に關する指導、連絡、統制に當つてゐる。

既に述べたやうに本運動は、他くまでも抽象的な御題目に終始すべきものでなく、商業者自身の自主的推進的報國運動として實踐躬行以て其の實效を期するものである。換言すれば、商業報國運動は商業者が新しい經濟

情勢下に於ける新商業理念を體得すると共に、その店頭に於てその商品を通じて、如實に商業報國の赤誠を披瀝するものに他ならない。

今や商業者は、長期建設戦下に於ける我が國民の一人一人に課せられた名譽ある責務、使命の遂行に、その商業を以て挺身報國の誠を盡し、聖戰の戦野に立つ將士と共に國家總力戰の戰士として、銃後の護りをいよいよ鞏固にし、東亞新秩序建設の鴻業に獻身奉公すべき秋である。

畏れ多い次第乍ら、明治天皇の御訓を拜誦し、非常時下皇國民の覺悟を愈々鞏固にし、感銘を新たにしたい。

御製

國をおもふ道に二つはなかりけり

いくさのにはにたつまたぬも

は い パ ス

かゝ防てしに何如

内閣情報部

外國では「一箇師團の兵力より一人のスパイが恐ろしい」といはれてゐる。前回の歐洲大戰の際のスパイの活動振りは幾多の讀物或ひは映畫などで充分御承知のことと思ふが、今度の歐洲戦争でもスパイは實に目ざましい活躍をしてゐる。例へば、ノールウェー作戦に於て英國の軍需品輸送船が目的の港に入らうとする直前に、ドイツ空軍の空襲を受けて沈没してゐる。これは、ドイツのスパイが輸送船の目的地、入港時間等を探知して、本國に諜報した結果である。

スパイといへば、とかく軍事機密の諜報のみを考へ易いが、戦争が國家的、物的のあらゆる資源を總動員するいはゆる「國家總力戦」の形態をとるやうになると、軍事機密だけでなく、これ等の資源の状況を知らぬことも戦力判定の重要な資料となるのである。ところが、總動員に關する機密は頗る廣範圍なものであつて、國民生活と密接不離の關係にあるものであるから、今日では防諜の完璧を期するには、是非とも國民全體がこれに協力しなければならぬ。これが國民防諜の必要なる所以である。

ルーター通信東京支局長 ロックスのスパイ事件が大きな衝動を與へてゐる折柄、こゝに戦時下日本に於けるスパイ活躍の状況と、スパイを防ぐにはいかにせねばならぬかを述べ

べることにする。

スパイの正體

日本に在留する外人は、大公使、領事館員をはじめ陸海軍武官、外國系の銀行會社員、新聞通信記者、留學生、宣教師、商人、觀光客など種々様々である。勿論これらの外國人がすべてスパイであるとはいへないが、これらの中に、公然と、または隠密にスパイ行爲をしてゐる者のあることを忘れてはならない。この外に、いはゆるスパイとして本國から特派され、商人、觀光客などに偽装して入込む者も勿論ある。

これらのスパイは人種の全く異なる日本で活躍する場合には、その諜報網として多く日本人を利用するので

あつて、我々の同胞の中に、或ひは全然スパイの手先となつてゐることを知らず、或ひはそれを知らながらも金銭に眩惑されて、賣國奴的行爲をするものがあるとすれば誠に遺憾なことである。

スパイの方法

スパイの活躍といへば、秘密裡に暗躍する部面のみが強調され易いが、各國で防諜が徹底して來たのと、前に述べたやうに「機密」が軍事機密だけに限らなくなつて來たために、最近では、合法的な手段によつて、公然とスパイする場合がむしろ多くなつて來た。今日では、國力を知ることが相手國の戦力を推定することが出來、従つて素人が見ても何でも

ないことまでスパイの目標となるやうになつたからである。

その國の情況を知るには種々の方法があるが、新聞、雑誌その他の公刊物を多數集めてその記事を科學的に整理しても、その國の國情を探知することが出來る。現に東京の某大使



館などは、事變以來年二萬五千圓を
投じて、新聞、雜誌その他の公刊物
を購入してゐる。新聞雜誌が思慮も
なく記事を掲載してゐると、これも
資料になるのである。

日本のやうに資源に乏しい國で
は、資源の状況を知らば、その必要
な資源の輸入の途を杜絶して、わが
國を苦しめることが出来る。また交
通網、鐵道車輛數、自動車數、商
船數、水陸の交通施設の状況等は、
戦時の輸送能力、即ち動員速度を推
定する重要な資料であり、航空工
業、自動車工業、化學工業、染料工
業等は戦時航空兵力、機械化部隊兵
力、化學戦能力の推定資料となる。
發電所や電信局、重要工場、水源
池、都市の寫眞、殊に俯瞰寫眞は空

爆の好參考資料となる。

ところがスパイは、官衙、學校、
工場、會社、商店等へ照會を發
し、その回答からこれらの資料を得
るのである。この照會は學術上又は
商取引上の照會に偽裝してあるか
ら、一見疑ひを挟む餘地がなささう
に見えるのである。

また外國系の會社で、社員採用
試験の口頭試問に全國の自動車の
數、道路網、港灣の状況等を質問し
たこともある。外國商社が日本支店
に命じて重要建築物の寫眞を蒐集し
たこともある。外國系の自動車會社
が、大學生に自動車を貸し與へて全
國の自動車旅行をさせ、沿道の道路
の状況、氣象、産業状況等を逐一會
社へ報告させたこともある。學生は

スパイの手先となるとは知らず、喜
んで總動員機密を外國に提供して
ゐるのである。

政治、外交の機密なども極めて迅速
に外國に漏れてゐる。政變の發表な
どで、日本人はアッと驚いてゐるこ
とも、在京の外國通信員は二三日前
に既にこれを知つて打電してゐると
いふ有様である。國外に寄與しよう
といふ善意から、外人と座談してゐ
る間にスパイされてゐることがしば
しばあるから嚴重な注意を要する。

謀略スパイ

以上は主として諜報に關すること
であるが、スパイにはこの外に恐るべ
き謀略スパイがある。諜報と謀略
とを併せて、武力戦に對して秘密戰

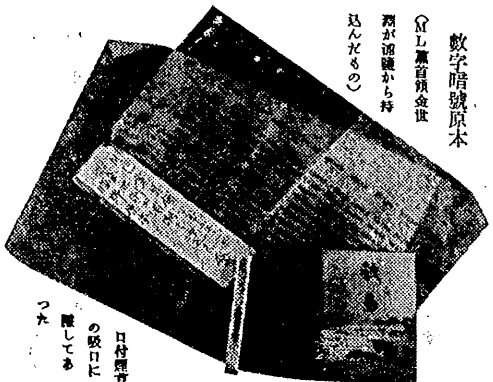
といふが、謀略スパイ活動の適例は
ドイツのオーストリア、チェコ兩
國の無血占領である。これは單なる
外交の成功だけではなく、ドイツの
秘密機關が、長い間努力した結果、
政治的に思想的に、この兩國をドイ
ツ色に塗りつぶして置いたからであ
る。

前大戰にドイツが、武力戦には勝
ちながら敗戦の憂目を見たのは、英
國の思想謀略に陥つたためであるこ
とは周知の事實である。

思想謀略の魔手は、平時戦時を
問はず、我々の周圍に躍つてゐる。謀
略スパイは軍民離間の反戦思想を鼓
吹し、ストライキ、サボタージュを
煽動する。コミンテルンの赤化工作
などは、平時から我が國に浸潤して

ゐる思想謀略の適例である。

思想謀略の最も單純なものは流言
蜚語である。事變以來種々のデマが



數字暗號原本
（左）原簿（右）金庫
蓋が破損から持
込んだもの

亂れ飛んだ。これが總て謀略スパイ
の放つたものとはいへないが、眞偽
を確かめずこれを信じ、しかも次ぎ

次ぎに輪をかけて放送するに至つて
は、完全に謀略スパイの魔手に乗つ
てゐるといへる。

如何に防ぐか

外國の諜報組織は軍事の機密は勿
論、政治、經濟、産業、思想など、
あらゆる部門についての諜報を集め
るのに、經濟團體、宗教團體、學術
團體、通信社など、平和の假面を被
つた團體を通じて、平時から深く
我々國民の中に喰ひ下つてゐるので
ある。單に諜報を入手するだけで
なく、またこれ等の組織を通じて恐
るべき謀略宣傳も行はれる。

このスパイの魔手をいかに防ぐか
は、諜報についていへば他にない、
秘密を絶対に他人に漏らさぬことで

ある。殊に官廳や軍需工場に勤務す

る者は、職務上知り得た秘密事項は家族にも話さぬ覺悟でなくてはならない。「秘密で語つた秘密は漏れる」一たん口から漏らしたことは必ずスパイの耳に入るものと思はなくてはならない。汽車、汽船、電車、バスの中などで、秘密に互つてゐることを得意然と高聲にしゃべつてゐる者があるが、スパイは外國人だけと思つてはならない。

殊に軍事上の秘密に關しては嚴重にその漏洩を防止する必要がある。この種の事項については手帳や紙片にも記入せぬだけの心がけが必要である。官廳や官吏、軍人、軍需工業關係者の家庭から紙屑を集めるの

はスパイの常套手段である。

また前に述べたやうな各種の照會には、慎重注意の上回答する必要があり、取引上の照會だと喜んで飛びつくと、それを綜合して全國の製造能力、或ひは貯蔵量をすつかり知られてしまふことがある。何でもない照會だと思ひ込むと、その中に一つだけ機密に關する質問が隠されてゐることがある。

文化團體、社交團體への照會、調査にも思想戰の重要資料があるから、照會先や内容を十分に検討する必要がある。

戦地から來た手紙を會報などへ載せると、これから重要な戦地の情報をとられることが多い。戦地へ出す

手紙にも秘密事項や固有部隊號を書かぬやう注意せねばならない。

以上のやうな軍事機密の外に、前に述べたやうに今日では國力を知ることによつて相手國の戦力を推定することが出来るから、素人が見ても何でもないことでもスパイ活動の目標となるから注意を要する。

日本人の缺點

日本人はその國民性が開放し過ぎてゐることが嫌ひである。この開放性は日本人の特點でもあるが防諜上には非常な缺點である。外國人が、日本では警察は嚴重だが、スパイは實にやり易いといふのはこの點である。殊に未だに残つてゐる外人崇拜

の傾向、外人と會話することを誇りとする氣風が最も禍ひをなすのである。

英國の我が國に對する宣傳方策の一例として「パンフレットやニュースは日本語でもよいが、英語で書いたものは日本人の中には喜ぶ者が多いからこの點に注意せよ」といつてゐる

のは、この弱點を巧みに利用してゐる實例である。英國の極東政策の第一階梯は、相手國內に親英派を獲得して、親英思想を普及することにありである。

思想謀略、諜報スパイに乗ぜられる根本の原因は、日本人の歐米崇拜にあるといへる。外國思想のうち日本の思想と全然合はないもの、即ち反國家的な思想をいなく個人や團

體は、この際斷乎として排除しなければならぬ。また外國系の經濟團體で既に日本に必要となつてゐるものは取除かなくてはならない。宗教團體や教育團體についても同様である。

要するにスパイは今日では、マツハリややうな個人的なものではなく、一つの組織なり、一つの組織組織となつてゐる。スパイを防御するにはこれに對應する國內の組織を一日も早く確立せねばならない。

い はゆる國內新體制は防諜の上からも必須の要件である。

厚生省人口問題研究所編纂 人口問題研究 第一卷 第三號

「研究要綱に於ける移動人口の労働力としての寄与」(資料運用時代の出生率及死亡率)「其若干の實例」(國勢調査年次に於ける男女年齢別人口の推計)「(附録)「綜合的推計人口、人口の數と質」(昭和十五年國勢調査報告書)「同進行規則」昭和十五年國勢調査に於ける推計技術に關する指示」所得稅改正法律及租稅法中改正法律に於ける扶養家族控除制度の新設」厚生省の出生率多寡調査の制限調査」東京市内の出生率及死亡の趨勢的調査」比價指數の編纂」(附録)「東京市内外の人口問題」(附録)「比價指數の編纂」)

全國各官報發行所
東京市印刷局發行
振替東京一九〇〇

外米の本質とその炊き方

厚生省衛生局

わが國民の主食品は、いふまでもなく米である。事實、主食といはれるだけに、日本人の身體の肉や血の約三分の一、温みや力(エネルギー)の約三分の二までを日々米から仰いでをり、その國內消費も甚だ巨額に上つてゐる。

従つて、保健と經濟の二つの見地から合理的に米を使ふかどうかは、わが國の國民營養、國家經濟、食糧政策等の上に非常に重大な關係があるのである。この主食糧である米に關し、政府が年來、白米を廢止し、無砂搗精を徹底させ、胚芽

殘存七分搗米を銳意奨励してきた所以も實に茲にあるのである。しかるに、數ヶ月前からわれわれの日常の食糧には混砂搗白米である外米が登場して来たが、

これも全く當面の特殊米穀事情によるものであつて、軍大時局下の今日誠にやむを得ないところである。さて、外米を日常の主食に供することについては、世間とかくの評判があり、殊にその營養的價値、保健的效果に關し、むしろ不當の見解を下し、或ひは根據のない誤解に陥る者も有り勝ちなので、こゝに現在輸入されてゐる外米の本質に關し、營養學的立場から検討を加へ、その概要を述べることにする。

	水分	蛋白質	脂肪	含水	纖維	無機質	一〇〇g中
泰 米	一三・〇%	七・八%	〇・八%	七・八%	〇・七%	〇・六%	三六・一
西 貢 米	一三・二%	七・三%	〇・五%	七・九%	〇・七%	〇・四%	三五・七
ラングーン米	一三・六%	七・六%	〇・七%	七・八%	〇・六%	〇・六%	三五・〇
内地米	一三・二%	六・九%	〇・四%	七・五%	〇・二%	〇・四%	三五・〇
内地米	一三・五%	六・九%	〇・三%	七・五%	〇・二%	〇・七%	三五・〇
(内地米)	一三・三%	七・三%	〇・五%	七・六%	〇・三%	〇・九%	三五・〇

外米の本質

外米の成分組成

現在わが國に輸入されてゐるいはゆる外米といふのは、主としてタイ國、西貢、ラングーン等に産する米で、白米としたものである。最近輸入された外米の分析結果を内地白米のそれと對比して示すと、前表の通りである。(表研究所)

即ち、外米も内地米も、白米の各成分の含有量においては著明な差異は認められない。やはり「米」なのである。しかし、右の比較に示すやうに、これを詳しくみると、豫想を裏切つて外米は内地米に比べて(1)水分が必ずしも少量でないこと、(2)蛋白質や含水素が僅かではあるが、かへつて多量であること、(3)カロリーがやゝ多いこと、などが見出される。(4)脂肪は多いものも少ないものもある。(5)纖維は外米の方が含量大であるが、因

よりその絶対量はとりたてて程の分量ではない。

外米の不評な點

外米の不評な點は、一般に、(一)外米は炊いて水引きが多いこと(二)粘り氣が乏しくボロ／＼すること(三)特殊な臭氣があること(四)消化がよくなく下痢などを起し易いこと(五)早くお腹がすくと、等が挙げられてゐる。次にその當否を検討してみよう。

第一の外米は水引きが多いといふ點については、外米が水分含量では内地米と餘り差異がないのに、炊飯に多くの水が必要なのは、外米の澱粉粒子の物理的性状、殊にその粒子の配列状態が特殊であつて、各粒子間の空隙が大きいのではないかと考へられる。この事は、まだ學術的に究明されてはゐないが、外米千粒の重量が、内地米のそれにくらべて軽い點や、

炊いて釜増えが大である點からも想像されるのである。

第二の外米飯の粘り氣が乏しいのは、(1)外米の纖維含量が大なること、(2)白米にしてはなほ且つ纖維の多いことは、米の内部の澱粉粒子を包む細胞膜に纖維が多いためらしく、従つて加熱による澱粉粒子の破裂糊化が内地米の場合よりも遅く、また困難であること、等によるものであらう。

第三の外米に特殊な臭氣があるのは、主として防鼠・防蟻の目的で包装に撒布される石油等の臭が米に移るためと考へられる。同じタイ米でも臭氣に強弱があるわけを考へてみれば分かるのである。

第四の外米飯の消化の點が云々されるのは、外米が纖維を多く含んでゐることや、その澱粉粒子の物理的性状にあるやうであるが、包含纖維の絶対量はさほど

大きくはないのであるから、このためにひどく消化障害を来すものとは考へられず、また澱粉粒子の物理的性状が下痢を招くほどのものとは思はれないから、結局、食べ慣れないのと、食味に遜色があるために抱く不満、愚痴ではないかと想像される。尤もビタミンB複合体の缺乏による消化障害も一應想像されるが、さすれば内地白米の場合でも同様の結果となるべきである。栄養研究所の最近の人体実験に徴しても、蛋白質の消化吸収率は、タイ米八五・六%、内地白米割割三割八五・五%で、兩者の間に何等著しい差は認められない。

第五のお腹が早くすくといふ點を考へるに、食物が胃を早く通過すればする程速く空腹を感じる。外米飯は水引きがよく釜増えが多いが、この釜増えは見かけの容積を増すことで、水以外の性質が増したのではない。容積の高いものは

早く胃を満し、實質の少い、しかも米のやうな含水炭素性食品は速かに胃を通過する。内地米飯に比べて外米飯では速くお腹のすくわけがよくなる。況んやわが國にあり勝ちな、副食物に考慮の拂はれない場合に於てをやである。上述のやうに、外米には種々の難點があるが、炊飯に工夫を加へ、それらの難點を改善修正するやう工夫をこらし、これを食用して慣れるやうになれば、外米飯に嗜好を向けに行くことはさほど困難ではない。

外米の炊き方

いま、外米内地米半々の割合の混合米一升をおいしく炊く要領を紹介しよう。

水 加 減

よく洗ひ、少量後じみ量しておくがよい。水に八時間くらゐ浸し朝炊く分は前夜、夕

分は午前中に水を盛りこめておく。別に水一升の中に一握り(約50グラム)の新鮮な無砂糖を入れ、攪拌して一時間ぐらゐ放つておいた後、布で濾し、糖水を造つておく。炊く水は、先の外米の浸し水と糖水とを合せて、一升八合とし、米の量の約八割(約)更に一グラムの食鹽を投入して仕かける。

註 (1) 外米は混砂糖もあるから、炊飯前に水洗をしておく必要がある。

(2) 外米は水引きがよく、且つ炊くのに内地米よりも長い時間かかるため、水加減を多くする必要がある。

(3) 糖水を使ふことは、ビタミンBを補給する外、食鹽とともに飯に粘り氣を與へ風味をよくする。糖水はその都度新しく造らなくてはならない。

(4) 食鹽の代りに重曹を推す向もあるが、重曹を使ふとビタミンBを

破壊する虞れが多分にある。

火 加 減

- 1 強火で炊き沸騰してオネバが出始めるまで同一火力を続ける。(約十二分)
 - 2 火力をほぼ半減して約十分間続ける。それから次の階層に移る。よく水沸した小さな木炭切三個位を釜の中に入れてとよい。
 - 3 最低限度の火力に弱め、文火で約二十分間続ける。
 - 4 消火、五分間位そのままにしておいた後櫃に移す。
- 註 (1) 内地米を炊く場合よりもやゝ長い時間を要する。特に文火の階層を長くする。
- (2) 途中木炭を入れることは外米の臭気ぬきに効果がある。木炭は三四回使用出来る。使用後も燃料に供し得ることは勿論である。

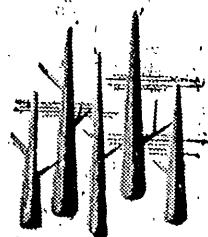
なほ右の他、外米に粘り氣をつけて食味をよくするには、

- (1) 片栗粉又はメリケン粉等を食匙に二杯位水どきして、沸騰し始めた時混入すること。
- (2) 食用油(ゴロ油、大豆油、菜油)を茶匙一杯くらゐ混入して炊く。
- (3) 昆布を適當の大きさに切つて釜底に敷き、その上に米を入れて炊く。
- (4) 糯米を添加するのもその主旨は同じである。
- (5) 調理法を工夫して、例へば、炒飯、カレーライス、チキンライス、ハムライス等にすれば一層食べ易くなる。

ビタミンBの補給

外米も玄米のまゝで輸入して、内地で無砂糖を以て七分搗の程度のものですれば、ビタミン問題は忽ち解決されるで

ないかとの意見が各方面にある。しかし、熱帯地方の實情では收穫した糯米を、そのまま搗糖し、直ちに白米とするのが常である。わが國のやうに、搗糖りと精米との區別がない。即ち、彼地では米といへば精白米だけで、糠には必ず穀も混合してゐる。糯米のまゝでは容積の關係、検査規格の關係等で輸入することが至難であり、また、玄米、七分搗米の形では熱帯の湿度と、遠路を運搬する長時間の貯蔵とに耐へ兼ね、變敗の虞がある。結局混砂糖白米として輸入されるのである。従つて、輸入外米には内地の混砂糖白米同様ビタミンBは全然期待出来ない。外米飯にビタミンBを附加するためには、上述の通り炊飯時に糖水を用ふることが、最も賢明な方法であるが、なほ麥、粟、粟、粟等の雜穀類の外、蕎麥、豆類、芋類等を容易に入手し得る地方では、その混用が望ましい。



獨伊のバルカン工作

外務省情報部

獨伊のバルカン工作積極化

去る六月下旬、ソ聯がベッサラビアを回収しブコヴィナ地方へ進出するや、ハンガリーとブルガリアも、第一次大戦の結果、ルーマニアに併合されたトランシルヴァニア及びドブルジャの失地回復に好機到来と見て、獨伊當局へその意向を傳へた。

しかしながら、獨伊兩國としては洪勃兩國の宿望に充てんするもの、一方、戦時所要物資の供給地としてのルーマニアが混亂されることを欲せず、ためにひたすら洪勃兩國の自重を要望したのである。

の失地回復要求の聲は依然としてやまず、又、ルーマニアは勢力刻々に増大しつつあるソ聯へやもすれば接近するの懸念が強まり、ドイツとしていづれ早かれ遅かれ解決に乗り出さなければならぬ問題である。そこで、事の紛糾を避けるため四圍の情勢がドイツ側に有利な現状を逸せず、この際にバルカン問題を片づけておく方が得策であると考へるに至つた。且つ又、イタリアとしてもこの際ルーマニア問題を平和裡に解決して置けば、將來ユーゴスラヴィア問題の處理に際して當然ルーマニアとユーゴスラヴィアの布くであらう共同戦線を事前に押へ得るわけで、ユーゴスラヴィアのソ聯との國交回復以來、ことに最近とかく面白からぬ伊ユ關係にも照らし、各個擊破の方策によりまづ

ルーマニア問題を解決して置くことが有利とされ、こゝに獨伊樞軸のバルカン工作が積極化されるに至つたのである。

獨外相、羅、洪、勃首脳と會談

そしてまづ、七月十日、ハンガリーのテレキ首相及びチャーキ外相はドイツ政府の要求によつて訪獨し、ミンヘンに於てリップベンドロップ獨外相及びチアノ伊外相と三國會談を行つた。

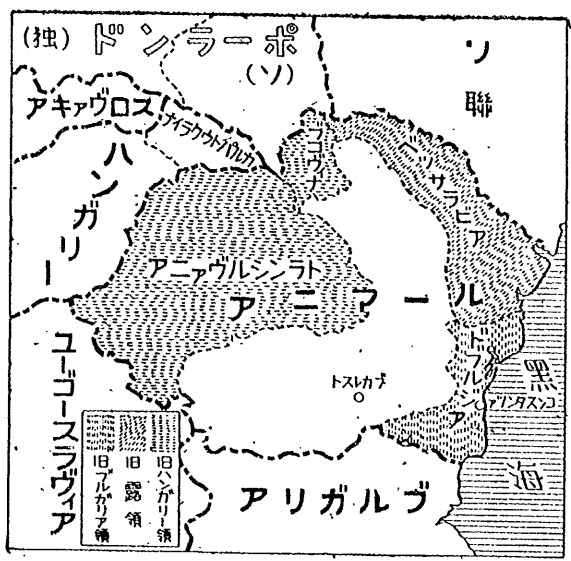
次いで、ドイツ政府は更にルーマニア、ブルガリア兩國の首相及び外相にも訪獨を要求し、ルーマニアのギグルツ首相及びマノイレスコ外相は、七月二十六日ザルツブルグに於てリップベンドロップ獨外相との間に獨羅會談を行ひ、翌二十七日ブルガリアのフィロフ首相及びボポフ外相も、ザルツブルグに於てヒトラー總統臨席の下に、獨外相との間に獨勃會談を行つたのである。

かくて、ルーマニア政府首脳との會談に引つゞく、ブルガリア政府首脳との會談により、ドイツのバルカン工作はいよいよ積極的に開始されたが、それに關聯してドイツ官

邊ではバルカン新秩序の建設につき、次のやうな見解を表明したと傳へられる。

- 一、バルカンに對するドイツの關心は、經濟的見地からバルカンの平和を確保強化することであり、この點につき獨伊の見解は完全に一致してゐる。
 - 一、而して、バルカンの平和を確保する基礎の上に安定せしめるためには、バルカン諸國が自由意思に基づいて協議を遂げ、紛争の原因となるが如き諸懸争を公正の原則により合理的に解決する必要がある。
 - 一、英國はこの地方から完全に閉め出しを喰つてゐるにもかゝらず、未だにバルカンに平和攪亂の原因を持ち込まんとする策動をつゞけてゐるが、徒らに現状を墨守し、保障政策を固執することはバルカン平和維持の所以ではない。
- なほ、獨羅會談の終了後、ルーマニア首相及び外相は直ちにイタリアへ赴き、二十七日にムソリーニ伊首相と伊羅會談を行つたが、ザルツブルグの獨羅會談及びこのローマの伊羅會談の目的は、ルーマニアをめぐる洪勃兩國の失地

回復問題の平和的解決にありとされ、イタリア政界でも一般に、洪勃兩國の要求たる、トランシルヴァニア及びドブルジャ回復は獨伊兩國により大體に於て承認されたものと見



次いで七月二十八日、獨伊樞軸のバルカン安定工作の

掃尾を飾るべきドイツとスロヴァキアとの會談が、ザルツブルグに於て、獨外相とスロヴァキア側のチゾー大統領、ツカ首相、サノマツク外相との間に行はれ、同會談終了後スロヴァキア代表一行は直ちにベルヒテスガーデンに赴き、獨外相列席の下にヒトラー總統と獨ス會談を再び行つたのである。

ドイツの方針と羅の態度

かくて、ヒトラー總統及び獨外相とバルカン諸國代表との間に順次行はれた會談は、こゝに完了し、ルーマニアはヒトラー總統の指示に従ひ、近く洪勃兩國代表とトランシルヴァニア及びドブルジャの割譲について協議を開始するものと傳へられるに至つたが、米國方面では以上の羅洪勃三國會談に關するドイツの方針を次のやうに解釋してゐる。

- 一、ハンガリーはトランシルヴァニア地方の中、第一次大戦で失つた部分のみの返還を要求する。
- 二、ブルガリアは南ドブルジャをルーマニアから回復す

るが、ルーマニアの黒海への出口たるコンスタンツァ地方への進出は差控へる。

なほそれに關聯しスロヴァキア方面に於ては、今次の會談にスロヴァキアが招請をうけたのはドイツがスロヴァキアをハンガリーへの一時的領土として合併せよとの計畫の現れと見てゐる向きもある。そして、以上の國境變更が即時實行されるか、或ひは英獨戰爭の終了まで待つて行はれるかは未だ明らかでないが、とに角ハンガリーの強化に細心の努力が拂はれてゐる點が注目されてゐる。

一方、ルーマニアに於ては、この際トランシルヴァニアの一部及び南ドブルジャを洪勃兩國にそれ／＼割譲することはやむを得ぬとし、問題を不安のまま永引かずよりも寧ろこの機會に全部を解決して、新ルーマニアの建設に邁進すべしとの意見が有力であるといはれる。但し、ハンガリーが要求するやうな北部トランシルヴァニアの大部分の割譲は不可能とされ、人種から云つても同地方は住民總數五百萬のうち、ハンガリー人百五十萬、ドイツ人五十萬で、他の大部分はルーマニア人であり、ルーマニアとして

はドイツの妥當な折衷案を期待し、殊に五十萬に達するドイツ人の存在が微妙な問題であり、ために一部に於ては同地方の自治制を豫想してゐるが、それはハンガリー側で承認しないものと傳へられてゐる。又、ドブルジャに關しては、以前からルーマニアは、適當な時機にこれを返還する用意ある旨を、非公式ながらブルガリアに對して表明してゐたこととて、その解決は案外容易と見られてゐるのである。

バルカンの新秩序とソ聯

一方、トルコ方面に於ては、ヒトラー總統の今回の洪勃羅三國首腦者招集は單に洪勃兩國の失地問題解決のためのみならず、最近英國と聯繫してそれらバルカン三ヶ國抱き込み工作中のソ聯の動向に對し、ドイツが先手を打つて對ソ警報を發し右三國に釘を打つことがむしろ主な目的であるとの見解を抱いてゐる者もあつたと傳へられてゐる。

なほ英國は最近、ルーマニア援助からブルガリア支援に

轉向し、ブルガリアのドブルジャ回復は「至當な要求」である、公然その回復支持の態度を表明したことは、従来のソ独友好關係に照らし、英ソ接近説の高い今日とくに注目されてゐる。

また、米國に於ては、獨伊のバルカン工作に對し、この間ソ聯が終始沈黙をつとけて来たことについて種々な觀測が行はれ、一部ではソ聯の沈黙は獨伊兩國がソ聯に對して何かの代償を提供した結果だと見る向もあり、ニューヨーク・タイムズ紙がローマ情報として傳へるところによれば、獨伊兩國はソ聯に對し次のやうな提案を行つたと云はれる。

- 一、ソ聯に、ハンガリーがチェッコから獲たカルパト・ウクライナを與へる
 - 一、これに對しハンガリーは、スロヴァキアの東半分及び西トランシルヴァニアの一部を獲得する
 - 一、ブルガリアに南ドブルジャを與へる
 - 一、ドイツはスロヴァキアの西半分を獲得する
- さらに一説によれば、ドイツはソ聯をして獨伊のバルカ

ン政策を承認させるため、代償として、中部ポーランド地方の割讓を考慮中といはれ、若しこの計畫が實現すれば、英國は從來ポーランドの回復を和平條件の一としてゐたのに鑑み、英國にとつては頗る不利な情勢が齎されるものと見られてゐる。

即ち英佛勢力の後退に伴ひ、獨伊の支配下に、このバルカン地方が如何に再編成されるか、又それに關聯するソ聯の勢力圏がどの程度で劃定を見るか、その前途は極めて注目に價ひするものである。

物價局編纂 物價關係法規類集

定價 一圓六十錢
送料 内地外貨賣

最新刊

國家總動員法、價格統制法、發行行爲取締規則その他
賣買取締規則等の範圍にわたる物價關係法規を實現
一般、糖類品、化學工業品、金屬品、農林水産品、食料品
及藥料の九項目に分類収録したるものにして、法規の改訂
は加除追録により修正し、常に現行の物價關係法規として
て活用し得るやうに編纂したるもの。

全國各地官販賣所
均に書店にあります

内閣印刷局發行
東京市神田區大塚
郵便東京一九〇〇〇

文化工作

一、對支文化工作

今次事變の當初に發表された近衛聲明の東亞新秩序建設のうちに、共同防共、經濟結合の實現と並んで、新文化の創造なる一項があることは、今あらためてこゝで述べるまでもないことであらう。

それならば、こゝで言はれてゐる新文化の創造といふことはどのやうなことであらうか。これはたゞ漠然と新しい文化といはれたものでは勿論ない筈である。今次



内閣情報部編

の聖戰のもつてゐる意義が東亞の新秩序にあり、この新秩序の建設に不可欠な條件としての政治的、經濟的な新しい秩序と並んで、當然に文化的な新しい秩序が創造されねばならぬ決意を現してゐるに外ならない。このやうな必要から、今次の事變の初めから、政治、經濟工作と並んで、文化工作が重要な部面を擔當することになつたのである。

といつて、政治、經濟工作が文化工作となんの關係もなくばらばらなものかといふに、既に東亞の新秩序とい

ふ共同の目標をもつてゐるところから、さうは言へない。そればかりでなく、政治、経済工作と文化工作とはもつと密接な、切り離すことのできない関係をもつてゐることをはつきり知らねばならない。例へば、支那の國民生活の新しい経済的秩序を興へることはもちろん經濟の仕事であるが、この國民生活の生活文化から思想文化に至る、廣汎な領域に、東亞の新秩序の理想に適つた新しい内容と形式とを興へることはいふまでもなく文化の仕事である。そして、この二つの工作はどちらが缺けてもろまぐ行かないのであつて、互ひに助け合ふ關係にあるのである。

このやうに考へると、文化工作の領域が餘りにも廣汎なのに驚かざるを得ないであらう。そればかりでなく、以上のやうな靜的な側面ばかりでなく、われ／＼が現在、東亞新秩序建設のための聖戰たる軍事行動を繼續してゐることはいふまでもないから、この軍事行動に直接に伴つてゐる宣傳工作、治安工作から、聖戰を現在もはばまうとしてゐる妨害物——これこそ、今次事變の直接

の原因なのであるが——に對して、文化の領域で積極的に戦はねばならない状態に置かれてゐるのである。

このやうに、文化工作の理想としてゐることは一つであるが、それが實際に活動しなければならぬ場所は今多岐にわたつてゐる。このことはまた、文化工作を二つに分けられるであらう。一つは、文化工作の理想を明確に豊かに認識するところの理論的な側面と、他の一つは實際に活動するうへの技術的な側面とである。理論のない技術は無方向に終るのみであり、技術のない理論は對象をほんたうにつかむことができないわけである。そして、全體として理想に適つた組織的で計畫的な文化工作が行はねばならないのである。

對支文化工作については今までに既に多くの人がよつていろ／＼に論議されてきたし、現在も論議されてゐる。そして、これらの論議が一見してまち／＼のやうに見えることがあるにしても、やはり前記のやうに、實際に活動する場所が多岐にわたつてゐて、従つてまたその技術も多岐にわたらざるを得ないことを示してゐるのであ

る。そのやうに、實際に活動する技術的な側面には、對象つまり支那民族の性格を知らなければ、善意をもつてやつたところで善意に解釋されてしまふやうな逆なことになる。だが、この支那民族の性格を知るといふだけでも、多くの人が言つてゐるやうになか／＼容易なことではないのである。

最近、或る論者が、「對支文化工作には、理論も必要であるが、民衆を相手にするときには實際に見せることが特に重要であつて、それは支那に行つてゐる日本人が現地の生活で日本文化を體現して見せることである」と述べてゐた。そして、論者は續けて、「ところが現地に於ける日本人の文化的生活は成功したものではない」と結論してゐる。このことはなにも新しく言はれることではないかと思はれる。が、このことは極めて重要なことであると思はれるのである。といふのは、論者の述べてゐるやうに、いかに日本文化が優秀であつても、それを體現してゐなければならぬ日本人とその生活のうちに、それが見えなければ、無いとひとしいわけである。そのやう

に、現在、日支の關係は政治、經濟の領域におけるやうに、文化の領域においても、協同提携の下に大陸の文化經營に参加してゐるのであつて、現地の日本人とその生活こそがこの文化經營の前提であるといはざるを得ないのである。

對支文化工作に限らず一體に對外文化工作は國內文化政策と切り離せるものではない。まして、大陸の文化經營に積極的に参加してゐる以上、切り離せないどころか、對支文化工作を考へることは、同時に國內文化政策を考へねばならないことになるのである。このことは、東亞の新文化の創造を共同目標としてゐるところからも極めて當然であらう。なにも現地に於ける日本人ばかりでなく、國內にある日本人も同様に重要な文化的課題が課せられてゐるのである。對支文化工作を對岸の話のやうに考へてゐる國內人があつたならば、これは大變なことである。

が、現地にある日本人は、なんといつても前哨的位置にある。今春からの渡支者の制限、また北支軍及び中支

軍の現地日本人に対する布告は、このやうな意味で大きな文化工作的意義をも持つてゐると考へられる。われわれ日本人はもつと名譽ある積極的な文化工作的意義を果さねばならない。

二、理論と實際

以上は對支文化工作の一般について書いたのであるが、次にいさし具體的問題に入つてみよう。

今次の日支間の事變の直接の原因は、既に周知のやうに、重慶政權のつた抗日、毎日政策にあることはいふまでもない。この政策の結果生れた抗日、毎日意識は、現在、對支文化工作がまづ最初に直面しなければならぬものである。そして、この抗日、毎日意識を分析すれば、重慶政權がとつた聯ソ容共と英米依存といふことになる。これは政治、經濟政策にいはれるばかりでなく、また當然に文化政策にもいはれるものであつた。

聯ソ容共政策は西安事件以後、單に學校教育ばかりでなく、民衆教育、社會教育にも顯著に現はれたものであ

つた。文化政策のうち、教育——學校教育と民衆教育——の部面は最も重要な部面であつて、教授は講堂で共產主義を説き、學生は共產主義の團體を組織するに至るといふ状態にあつた。事變勃發以後は、民族主義、救國主義の名の下に一層聯ソ容共政策は續けられたのであつて、現在においても重慶の奥地にあつて續けられてゐるものである。けれども、聯ソ容共政策によつて、民族主義、救國主義の達成どころか、中國の、民族の喪失しかない

ことはいふまでもないことであつて、新國民政府が、和平と反共こそ救國の唯一の手段といつてゐるのは正しい。それはともかくとして、以上のやうな聯ソ容共の文化政策に對立するものとして共同防共なる文化政策がとられねばならぬことはいふまでもない。従つて、東亞の文化の創造の歴史的條件の一つが防共にあることはこれまたいふまでもないことであらう。

新國民政府の成立以前における蒙古聯合自治政府、北支臨時政府、中支維新政府はともに共同防共なる文化政策をとつてきたのであつた。例へば、北支臨時政府は成

立とともに、黨化排日教育の絶滅、親日滿思想の徹底、防共精神の普及、新民主主義の養成の四大原則をもつて教育の指導方針とする旨を決定したのである。

かゝることは學校施設の復興をとまねばならぬことであつて、これはこれで北支のみについても、北京大學、北京師範學院、北京女子師範學院、外國語專修學校、北京藝術專科學校などから、多くの日語學校の設立、小學校、中等學校の復興に至つてゐる現狀である。また、民衆教育、民衆組織として、例へば北支においては新民會のごとき文化工作の廣泛な課題を負つた活動的な團體がある。

教育については次號で詳細に述べられるので省略するとして、教育とともに文化工作の重要な部面である社會事業(主として隣邦防務)について見るに、これは事變發生とともに、軍關係、蒙疆に於ける善隣協會、北支中支における同仁會、北支の新民會、中支の大民會、紅十字會を初めとした各種宗教團體などを中心としてなされてゐる。このうち例へば同仁會は、事變以後は施設を北京、天津、上海、南京を初めとして三十箇所に設け、診

療及び防疫を全く獻身的に行つてゐる。これらの社會事業とともに當面の問題となつてゐるのは戦火による難民(都市及び農村)の救済であつて、従來もわが方、新政府、また上海、天津などの特別市の社會局によつてなされてきた。が、なんといつても莫大な數であり、またこの解決は建設的な社會政策、厚生政策を待たなければならぬので施設及び方法は今後の問題である。

これらの社會事業が現在落實になされてゐるとはいへ、これを歐米人の社會事業と比較するとき遜色ある事實は事實として承認せざるを得ない。従來、これらの社會事業に限らず、歐米の對支文化工作はミッション事業によつて代表されてきたのであつて、對支文化工作即ちミッション事業であつた。そして、このミッション事業なるものは單に宗教の領域ばかりでなく、教育、社會事業また厚生の領域に全般的に多年の月日と費用と努力とによつてなされてきたものであつた。かゝる事情が經濟上の歐米依存と竝んで、文化上の歐米依存を生ずることになつたのである。

以上のごとき経済的、また文化的な英米依存といふことは、とりもなほせず半植民地支那の性格を示してゐるに外ならない。

今次聖戦の意義が東亞の新秩序、換言すれば半植民地支那の政治的経済的解放にあると同時に文化的解放にある以上、文化的英米依存なるものもまた當然に排除されねばならない。このことは、重慶政權地域内に於ける英米ミッションの協力的な文化工作や占據地域内に往々にして見られる英米ミッションの敵性を考へるとき、この感を一層深くする。だが、既に述べたやうに、わが對支文化工作は歐米諸國に比較するとき立ち遅れてゐたのであつて、今次事變を轉換期として一大飛躍を要求されたのであつた。勿論、事變以後、これは理論的にもまた實際的にも着々と堅實な歩みが進められてゐるとはいへ、あくまでも過程にあることが忘れられてはならないのである。

三、新文化の創造

共同防共、歐米依存の排除といふことが今次聖戦の直

接な歴史的な性格であり、従つて新文化の創造なる文化工作の理想もかゝる歴史的な性格を持たされることは既に述べたところである。そして、かゝる文化工作の遂行をまつて、文化的にも半植民地支那が始めて獨立した民族國家たる資格を有することはいふまでもないことである。文化的に外國依存、外國模倣の状態にあるとき獨立した民族國家といふものは考へられないからである。

けれども、共同防共、歐米依存の排除といふことは新文化の歴史的な性格ではあるが、これの本質ではないことはこれまた明らかである。新文化の創造とは、東亞の民族文化の眞實の復興に外ならない。

例へば、日支兩國の文化的提携と東亞文教百年の基礎を確立することを目的として成立した東亞文化協議會はその創立宣言のなかで次のやうに述べてゐる。

「我が東亞は數千年の歴史を有して獨特なる文化體系をなし、しかも絶えず他系の文化を吸収して克己れが文化に融合せしめて自らを一層豊富にするを得たり。然るに最近百年來一部の者西方科學の利用に資す

ること大なるに驚きて己がすべてを惜まず、盲従のあまり遂に精神物質共に西方思想に溺れ終らん如き傾向を生じ、同文化系統にある兄弟もただならざる朋國の間にすら一大危難を見るに至れるは洵に痛惜に堪へざるなり。而してその因りて來れる所以をたづぬるに外來文化に處するに當を得ざるにあらざること明らかなり。

科學の進歩も眞に人類の福をなすありと認むると同時に、我が東亞獨特なる形而上の道の獨り克く巍然として數千年來傳來し來れるはこの人類の深き要求に合するところあるを自覺せざるべからず。即ち古今の人類を明らかにし傳來の文化を尊として東亞文化の建設に努力邁進せん。

そして、この主旨とする民族文化の保持、發展は新國民政府もまた同様にその文化的課題の核心としてゐるところである。去月二十八日、新國民政府側に於て中日文化協會の成立を見たことは喜ばしい。その趣意書のうちに同様に「日支兩國の文化を融合貫通せしめて一體の東洋文化たらしめる」ことを述べてゐる。

岡倉天心はつとに明治時代に、「アジアは「なり」と言つてゐる。これは東亞が長い歴史と深い根柢とをもつてゐる一の文化共同體であること、それが不幸にして西洋文化の侵入とともに混亂してしまつたのであるが、東亞民族の自覺とともに再び新しい文化共同體たるべきことを要請してゐるのである。

その場合に、日本は、そして日本だけが皇道精神民族生命力のうちに、嘗ての文化共同體を自らのうちに生き／＼と藏し、西洋文化を吸収することによつて自らを喪失することなく、東亞民族の使命のための聖戰を現在戦つてゐるのである。従つて、日支提携によつて新しい東亞文化を創造するに當つても、日本の積極的参加と指導とに待たざるを得ないのであり、既にこの大事業は始められてゐる。

從來世界といへばヨーロッパのことであり、文化といへばヨーロッパ文化のことであつた。だが、今こそ決定的にかゝる古い秩序と概念を破壊して、東亞民族と東亞文化とを正しい位置に置かねばならぬ。

官廳編纂圖書だより

第七十五回帝國議會速記録集 自昭和十四年三月(内閣印刷局編) 事變下三度目の通常議會として開かれた第七十五回帝國議會に於ける貴族院、衆議院の議事速記録で、官報外として發行せられたものを一冊にまとめたものである。會議の經過は勿論、副期的な法制改正、その他の重要法案、並びにそれに關する質疑應答、昭和十五年年度歳入歳出豫算成立過程等その全貌を知ることが出来る。(A1列一四四〇頁 定價三圓八〇錢 送料内地三〇錢 發行内閣印刷局)

文部省推薦圖書一覽

滿洲童話作品集 第一輯 (鹿島鳴秋編) 本書は滿洲に成長する兒童のために、在滿の童話作家十四人によつて滿洲に取材した創作童話と傳承童話の再話を集めたもので、童話十六篇兒童劇二篇を収めてゐる。各篇ともそれ／＼滿洲の地方特色が明瞭に健康な作品で、ひとり滿洲の兒童のみならず、内地の兒童にも讀ませたい四年生以上、上に適當な童話集である。(四六列三三四頁 定價一圓八〇錢 送料九錢 發行大連市東區南町三三 滿洲日日新聞社出版部 振替大連六〇番)

美しき世界 (ポロワ女史著)

本書はアメリカのポロワ女史原作を少年少女向けに譯したもので、美しき世界以外何物も知らぬ神の如き少年デッドが、その純情によつて、周囲の者を美しく明るく化せしめ、音楽家として世に出るまでの生立を描いたもので、讀者の情懷を豊かにし、清く美しい魂を自醒させるのに與つて力がある。中間讀物の比較的少い今日、健康な明るい讀物として、特に高等小學校二年生に中等學校二年以上の生徒に與へてよい書である。(四六列三五五頁 定價一圓七〇錢 送料九錢 發行東京市豊島區丸の内二二三 中央公論社 振替東京三四番)

カミサノオハナシ (藤田美津子著)

本書は二冊を以て完結してゐるものであるが、前篇は古事記、日本書紀の中「タカマガハラノマキ、イツモノマキを片孫降臨より神武天皇即位までを、後篇は天孫降臨より神武天皇即位までを「タカチホノマキ、ヤマトノマキ」として矢張り、片假名文を以て書いたもので、何れも著者の體験を通してにじみ出る平易な敘述が、又美しい文によつて、餘り日本の童國の様子を伺ひ知る事の出来る、小學校二、三年生の又母親が子供に讀んで聞かせてよい、好適な本である。(四六列三三三頁 定價二圓六〇錢 送料二七錢 定價一圓四〇錢 送料九錢 發行大連市佳吉區相生通二二三 赤松功雄 振替大連二九三九〇番)

週報

昭和十五年八月七日印刷發行
編輯部 東京市豊島區永田町
印刷部 内閣印刷局
發行部 東京市豊島區大手町

定 價 一 部 五 錢 (送料別)
定 價 一 部 十 錢 (送料別)
定 價 一 部 十 五 錢 (送料別)
定 價 一 部 二 十 錢 (送料別)
定 價 一 部 二 五 錢 (送料別)
定 價 一 部 三 十 錢 (送料別)
定 價 一 部 三 五 錢 (送料別)
定 價 一 部 四 十 錢 (送料別)
定 價 一 部 四 五 錢 (送料別)
定 價 一 部 五 十 錢 (送料別)

商業問題 懸賞論文募集

一、商業の適正販賣利益率を論ず
一、家庭用品配給の切符制を論ず
一、配給統制に伴ふ小賣商の轉業對策を論ず

賞金 特選賞壹萬圓 推薦賞壹萬圓 入選賞五拾圓
長さ 四〇〇字 詰原稿用紙五〇枚以上
但四〇〇字詰原稿用紙五枚以内の「全文の要旨」を添ふること
宛先 大阪市東區本町二丁目三十六番地ノ一 都心店協會
締切 昭和十五年十一月十五日(到府)
發表 昭和十六年二月三十一日入選者に直接通知す

京大 谷口吉彦氏
大阪商大 村本福松氏
神戸商大 平井壽太郎氏

規定書は大阪市東區本町二丁目都心店協會本部に御申込次第送付す
郵送希望の向は三錢切手封入のこと

都心店協會

露光量違いにより重複撮影

官廳編纂圖書より

（一）美しき世界（野上弘史著）本書はアメリカのボーイ・タール女史原書を少年少女向けに譯したもので、美しき世界以外何物も知らぬ神の如き少年アイダウツトが、その純情によつて、周囲の者を美しく明るく化せしめ、美しき世界として世に出るまでの生涯を描いたもので、讀者の情懷を豊かにし、清く美しい魂を自醒させるのに與つて力がある。中間讀物の比較的少い今日、健康な生に中等學校二年以上の生徒に與へてよい書である。（西宮市立中央図書館、定価一圓七角五分）（中央図書館、定価一圓七角五分）（西宮市立中央図書館、定価一圓七角五分）

文部省推薦圖書「兒童劇」

（一）滿洲童話作品集（第一編）（鹿島鳴秋編）本書は滿洲に成長する兒童のために、在滿の童話作家十四人によつて滿洲に取材した創作童話と傳承童話の再考を集めたもので、童話十六篇兒童劇一篇が收められてゐる。各篇ともこれら、滿洲の地方特色が明瞭に健康な作品で、ひとへに滿洲の兒童のみならず、内地の兒童にも讀ませたい四年生以上には適當な童話集である。（西宮市立中央図書館、定価一圓八角）（西宮市立中央図書館、定価一圓八角）（西宮市立中央図書館、定価一圓八角）

（二）カミサマノオハナシ（藤田美津子著）本書は二冊を以て完結してゐるものがあるが、前篇は古事記、日本書紀の中「カマカハラノマキ、イツモノマキ」を片假名文に書き改めたものであり、後篇は天孫降臨より神武天皇御即位まで、カマカハラノマキ、イツモノマキとして矢張り片假名文を以て書いてゐるもので、何れも又著者の體驗を通じてにみ出る平易な敘述が又美しい文によつて、餘り日本の帝國の様子を伺ふ知る事の出来る、小學校、三年生の又母親が子供に讀んで聞かせてよい好適な本である。（西宮市立中央図書館、定価一圓六角）（西宮市立中央図書館、定価一圓六角）（西宮市立中央図書館、定価一圓六角）

（三）カミサマノオハナシ（藤田美津子著）本書は二冊を以て完結してゐるものがあるが、前篇は古事記、日本書紀の中「カマカハラノマキ、イツモノマキ」を片假名文に書き改めたものであり、後篇は天孫降臨より神武天皇御即位まで、カマカハラノマキ、イツモノマキとして矢張り片假名文を以て書いてゐるもので、何れも又著者の體驗を通じてにみ出る平易な敘述が又美しい文によつて、餘り日本の帝國の様子を伺ふ知る事の出来る、小學校、三年生の又母親が子供に讀んで聞かせてよい好適な本である。（西宮市立中央図書館、定価一圓六角）（西宮市立中央図書館、定価一圓六角）（西宮市立中央図書館、定価一圓六角）

週報	昭和十五年八月七日印刷發行	印刷部	東京市神田區本町四丁目
一部	五錢（送料別）	發行部	東京市神田區本町四丁目
御注意	▲本誌の發行は、東京市神田區本町四丁目、印刷部、電話九〇九〇〇番、郵便東京九〇九〇〇番、に依り行はる。▲本誌の發行は、東京市神田區本町四丁目、印刷部、電話九〇九〇〇番、郵便東京九〇九〇〇番、に依り行はる。▲本誌の發行は、東京市神田區本町四丁目、印刷部、電話九〇九〇〇番、郵便東京九〇九〇〇番、に依り行はる。	申請所	内閣印刷局發行課
所	全國各地官報販賣所	東都書信株式會社	東京市神田區本町四丁目
各書店・購買店			

商業問題
懸賞論文募集

論題（一題選擇）

- 一、商業の適正販賣利益率を論ず
- 一、家庭用品配給の切符制を論ず
- 一、配給統制に伴ふ小賣商の轉業對策を論ず

賞金 特選金貳百圓推薦金壹百圓入選金五拾圓
長さ 四〇〇字詰原稿用紙五〇枚以上

但四〇〇字詰原稿用紙五枚以内の「全文の要旨」を添ふることを先

宛先 大阪市東區本町二丁目三十六番地ノ一 都心店協會
締切 昭和十五年十一月十五日（到着）
發表 昭和十六年一月三十一日入選者に直接通知す

審査員

- 京都帝國大學教授 谷口吉彦氏
- 大阪商科大學教授 村本福松氏
- 神戸商業大學教授 平井泰太郎氏

規定書は大阪市東區本町二丁目都心店協會本部に御申込次第送付す
郵送希望の向は三錢切手封入のこと

都心店協會

週

報

昭和十五年八月七日
第一日
（郵便物影可）
（毎週一回水曜日出行）



支那事變國債

郵便局委託

此の國債は郵便局で無料で預ります

大蔵省 八月二十二日 九月二日

内閣印刷局印刷發行

（判[A5]格規定國はさき大の書本）